

ストライキで闘う韓国労働者を激励—

5・28日韓労働者連帯交流集会



ソウル市庁広場で行われた民主労総の首都圏ゼネスト大会、1万5千人が参加した、4月24日

今韓国では、朴槿恵政権の下で、民主主義破壊、生存権を奪う新自由主義、非正規労働者をより増やそうとする労働市場の構造改悪の攻撃、労働弾圧が続いています。これに対して、民主労総は4月24日にゼネストに立ち上がりました。

朴槿恵政権の労働者攻撃に、ストライキで闘う民主労総を激励し、日韓労働者の連帯・交流を図っていきましょう。是非多くの皆さんの参加をお願い申し上げます。

韓国からの報告

民主労総仁川地域本部

本部長 キム・チャンゴンさん

ゼネストの映像など

日時: **5月28日**(木)pm6時30分～

場所: **文京シビックセンター**

4階区民会議室ホール 資料代 500円

(都営地下鉄「春日」又は東京メトロ「後樂園」下車すぐ)

主催: 5・28日韓労働者連帯交流集会実行委員会

連絡先: 全国労働組合連絡協議会(全労協) 東京都港区新橋 6-7-1 川口ビル 6F Tel 03-5403-1650

韓国労働者と結ぶ会 東京都台東区上野 1-12-6 3F 中小労組政策ネットワーク

Tel 03-5816-3960



ゼネストの闘争計画を説明しているキム・チャンゴンさん

【プロフィール】

2001年の大宇自動車の整理解雇阻止の激しい実力闘争を主導し指名手配、その後粘り強い解雇撤回闘争で復職を果たした。現在大宇の後身である金属労組GM自動車支部(富川工場)所属。仁川地域連帯執行委員長

ストライキで闘う韓国労働者を激励—

5・28日韓労働者連帯交流集会 呼びかけと賛同のお願い

朴槿恵政権は、労働市場の構造改悪によって「より容易な解雇、より低い賃金、より多くの非正規職」を狙っています。これに対して民主労総は、1. 労働者殺しの労働市場の構造改悪粉碎、2. 公的年金を強化し、公務員年金改悪中断、3. 最低賃金 1 万ウォン争奪、4. 勤労基準法全面適用と労組法 2 条改正、すべての労働者の労働基本権争奪など 4 大要求を掲げてゼネストに立ち上がりました。

4 月 24 日の民主労総（全国民主労働組合総連盟）のゼネストには、民主労総加盟の 14 の産別労組の 2,829 事業所 25 万 9,519 人と、16 地域本部の 97 事業所 9,525 人の合計 2,926 事業場 26 万 9,044 人の組合員が参加しました。ゼネストは、個々の事業場の条件に応じて全面スト、部分スト、年休闘争など、さまざまな方法で行われ、朴槿恵政権と総資本の暴走にくさびを打ち込みました。またこのストに合わせて、全国 17 地域で、約 10 万人が参加してゼネスト大会が開かれました。首都圏ではソウル市庁広場で 1 万 5 千人が参加し、朴槿恵政権を糾弾しました。各地のゼネスト大会には、セウォル号の遺家族や市民団体も連帯し参加しました。

民主労総は、4・24 ゼネストを第一波とし、5 月 1 日メーデーにはソウルで 10 万人集会を行い、6 月に第 2 派ゼネストを予定し、もう一つのナショナルセンターの韓国労総とも共闘しゼネストを闘おうとしています

一方、日本では、安倍政権は、集団的自衛権の容認、秘密保護法、辺野古新基地建設、原発再稼働、TPP、また差別排外主義を煽るなど「戦争ができる国」作りに邁進するとともに、派遣法改悪など「世界で一番企業が活躍しやすい国」を作るなどといって労働者民衆の命と人権さえも奪おうとしています。

民主主義破壊、生存権を奪う新自由主義の時代、労働現場で、高空籠城、五体投地のデモ行進など激しい闘争を展開し、労働者への攻撃を強める朴槿恵政権に対して、ゼネストで闘っている民主労総をはじめとする韓国労働者の闘いに学ぶことは大いに意義のあることです。その上で今年は敗戦 70 年、朝鮮半島では解放・分断 70 年、朴槿恵政権の新自由主義独裁と闘っている韓国労働者と、安倍政権の暴走政治に苦しむ日本の労働者がどのように連帯・交流していくのかは、大きな課題です。

朴槿恵政権の労働者攻撃に、ストライキで闘う民主労総を激励し、日韓労働者の連帯・交流を図っていきましょう。是非多くの皆様のご参加、ご協力をお願い申し上げます。

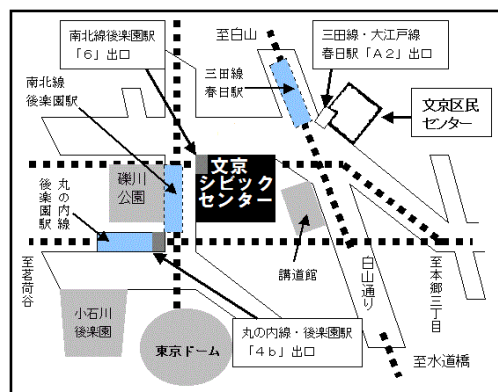
またこの集会の成功のために賛同をお願い申し上げます。

●集会賛同金：一口 個人 1000 円、団体 3000 円

●送金先＝郵便貯金口座 10140-54433981 韓国労働者と結ぶ会

【仁川は】朝鮮半島の西海岸に面し、38 度線のすぐ南側に位置している。1875 年朝鮮が開港する切っ掛けとなった雲揚号事件の舞台となった江華島も仁川市に含まれる。日本の植民地支配時代からの大工業地帯である。埋め立て地には大企業の大工場がある。また市内には、軍事独裁政権である朴正熙政権時代に過酷な弾圧の中で女性労働者たちが民主労組を作って闘った東一紡織があり、いわば民主的労働運動発祥の地でもある。その意味で仁川は労働者の街であり、伝統的に労働運動が活発な場所である。朝鮮戦争の時、米軍マッカーサーが再上陸した場所としても有名であるが、戦争の時の北からの避難民も多く住み、分断の痛みが残る場所でもある。

民主労総仁川地域本部は、約 3 万人の組合員を擁する民主労総の地域本部である。その中心は 1 万人の組合員がいる金属労組 GM 自動車支部（富川工場）である。また千人単位で仁川空港で働く非正規労働者を組織し、更に学校で働く給食などの非正規職労働者を数千人で組織しているなど、非正規職、未組織労働者の組織化に非常に熱心に取り組んでいる。一方民主労総仁川本部を中心に、仁川地域連帯という、いろいろな政党や政治団体、社会団体、市民団体が網羅された、恒常的な統一戦線を作っているのは仁川地域だけである。課題も医療の民営化など新自由主義的問題に取り組んでいるのが大きな特徴である。



● 5・28 日韓労働者連帯交流集会に賛同します

名前 (団体名)
連絡先・住所
肩書、役職、職業など
一言メッセージ

【 個人・団体 】

電話
E-mail

名前(団体名)の公表の【 可・否 】